

情報科目に関する事前調査について（大学のみ）

本学では1年次に情報科目を4単位必修で履修します（経済学科、経済法学科は2単位）。クラス分けのために事前調査を行いますので、以下の説明を良く読み、回答フォーム（入学手続要項掲載の『北星で学ぶにあたっての入学前調査』）から回答してください。

なお、この事前調査は、入学後の成績評価とは一切関係がありません。

【情報科目の概要】

◆1年次前期「情報入門」・・・必修（2単位）

文字の入力、電子メール、Web 検索、文書作成、表計算などの初歩的操作や、AI、情報セキュリティ、情報モラルなどの基本的知識を学びます。（高校の復習を含む）

◆1年次後期「情報活用」・・・経済学科・経済法学科以外は必修（2単位）

調査の企画立案、データの集計・分析、プレゼンテーションなどの一連の作業を通して、問題解決場面での情報の伝達・共有方法やパソコンの活用方法、データサイエンスなどをより具体的に学びます。

経済学科と経済法学科では、本科目は「選択科目」となります。ただし履修には事前登録が必要です。履修を希望する学生は4月の履修期間前に事前登録を行ってください。科目の事前登録についてはオリエンテーションで確認してください。

【情報科目に関する事前調査について】

1. タイピングスピードチェック

次ページの説明に従ってタイピングスピードを調べ、WPM の結果を数値で答えてください。どうしても調べることができない場合に限り、「999」と回答してください。

2. 操作スキルチェックリスト

このチェックリストは、現時点でみなさんがどの程度操作ができるのかを調べるためのものです。自分でできると思う項目、またはわかる項目をすべて選んでください。なお、解説書を少し見る程度でできそうなものは、できると考えて回答してください。

3. 情報に関する基礎知識調査

各質問に答えてください。これらの質問は、今の時点で各人が持っている知識をできるだけ正確に調べるためのものですので、教科書や参考書などをいっさい見ずに、自分だけの力で回答してください。分からない場合は無理に答えないで、わからないを選択してください。質問は全部で38問、標準回答時間は20分です。

タイピングスピードの調べ方（操作説明）

- この資料では、インターネット上のタイピング練習サイト「e-typing」を利用したタイピングスキルの調べ方を説明します。
- インターネットに接続されたパソコン（学校でも自宅でも可）を使ってください。
- 正確さを犠牲にして無理にはやく打とうとする必要はありません。目安として、正確率（＝正解率）が90%以上になるように心がけてください。
- 事前に少し操作に慣れてから測定するとよいでしょう。

1. Microsoft Edge（windows の場合）などのブラウザを起動後、アドレス欄に” <https://www.e-typing.ne.jp/> “と入力し Enter キーを押す。
または「e-typing」を検索して表示する。



2. 下図内の「腕だめしレベルチェック」の「今すぐチェック！」をクリックする。



3. 下図内の「今すぐチェック！」をクリックする。



4. 注意事項を確認し、下図内の「START」をクリックする。日本語入力モードが ON になっている場合は警告が出るので、OFF にする。



5. 下の画面が出たら、スペース・キーを押してタイピングを始める。



6. 最後に下図のような画面が表示されるので、WPMの値（＝スピード）を結果とする。ただし、正確率が 90%未満だった場合は無効とし、再測定を行う。

今回のタイピング結果	前回の結果
知らぬが仏 SIRANUGAHOTOKE	スコア 79
気は心 KIHAKOKORO	レベル D
牛は牛連れ USHIHAUSIDURE	入力時間 2分8秒67
三日坊主 MIKKABOUZU	入力文字数 193
提灯に釣鐘 TENDEN NIKIRIDANE	ミス入力数 8
	WPM 89.99
	正確率 95.85%
	苦手キー ODUNZ

この値を答えてください

90%未満だった場合は、再度、測定します

参考資料： <http://www.e-typing.ne.jp/> より